

交付運用報告書

SOMPO世界分散ファンド <DC年金>

(安定型) / (安定成長型) / (成長型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

作成対象期間：2023年12月16日～2024年12月16日

第 2 期 決算日：2024年12月16日

受益者の みなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、長期的な視点から、国内外の株式、債券、リートに分散投資を行う、みなさまの資産形成を応援するファンドです。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第 2 期末 2024.12.16

	SOMPO世界分散ファンド (安定型)<DC年金>	SOMPO世界分散ファンド (安定成長型)<DC年金>	SOMPO世界分散ファンド (成長型)<DC年金>
基準価額	10,603円	11,385円	12,622円
純資産総額	11百万円	14百万円	17百万円
騰落率※	3.2%	6.6%	11.8%
期中分配金合計	0円	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

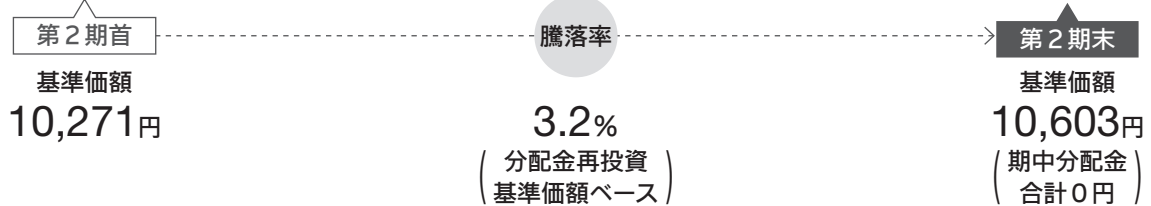
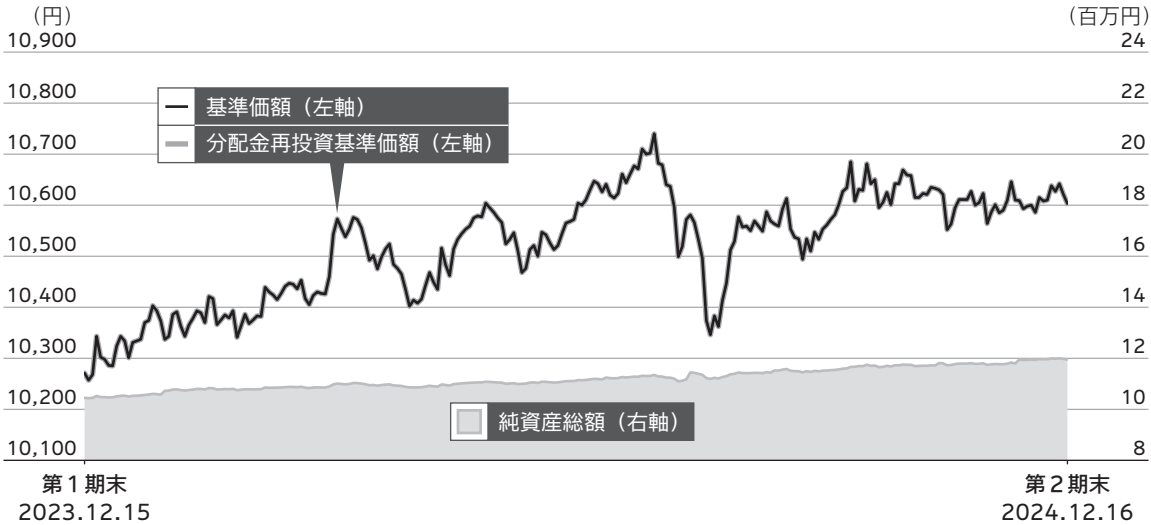


0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移

SOMPO世界分散ファンド（安定型）<DC年金>



- 分配金再投資基準価額の推移は、2023年12月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

基準価額の推移

● 基準価額の主な変動要因

SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞

当期間、「SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド」や「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」の基準価額が上昇したため、当ファンドの基準価額は上昇しました。外国株式や国内株式の上昇が主な値上がり要因となりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☐ SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞

基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2023年12月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞

当期間、「SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド」や「SJAMスモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したため、当ファンドの基準価額は上昇しました。外国株式や国内株式の上昇が主な値上がり要因となりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☐ SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞



第2期首

基準価額

11,294円

騰落率

11.8%

(分配金再投資)
(基準価額ベース)

第2期末

基準価額

12,622円

(期中分配金)
(合計 0円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2023年12月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞

当期間、「SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド」や「SJAMスモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したため、当ファンドの基準価額は上昇しました。外国株式や国内株式の上昇が主な値上がり要因となりました。

SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド

騰落率は+19.5%となりました。

当ファンドの騰落率は、同期間の国内株式市場が上昇したことを主因にプラスとなりました。

個別銘柄では、三井住友フィナンシャルグループ、三菱UFJフィナンシャル・グループ、大林組、東レ、三井住友トラストグループなどの保有銘柄の上昇が、当ファンドの基準価額の上昇に寄与しました。

SJAMスモールキャップ・マザーファンド

騰落率は+21.0%となりました。

当ファンドの騰落率は、同期間の国内株式市場が上昇したことを主因にプラスとなりました。

個別銘柄では、いよぎんホールディングス、日本テレビホールディングス、ちゅうぎんフィナンシャルグループ、めぶきフィナンシャルグループ、第四北越フィナンシャルグループなどの保有銘柄の上昇が、当ファンドの基準価額の上昇に寄与しました。

SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

騰落率は+21.4%となりました。

当ファンドの騰落率はベンチマークを下回りましたが、同期間の外国株式市場が上昇したことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。



損保ジャパン日本債券マザーファンド

騰落率は－2.2%となりました。

国内債券の利回りが上昇（価格は下落）したことから、基準価額は下落しました。



損保ジャパン外国債券マザーファンド

騰落率は－2.5%となりました。

米国債券や欧州債券などの利回りが上昇したことから、基準価額は下落しました。



損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

騰落率は＋8.0%となりました。

米国債券や欧州債券などの利回りが上昇したことはマイナス要因となりましたが、円に対して米ドルやユーロなどの主要国通貨が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。



損保ジャパンJ－REITマザーファンド

騰落率は－4.4%となりました。

J-REIT市場が下落したことから、当ファンドの基準価格も下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。



ベビーファンド



マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞

項目	第2期 2023.12.16～2024.12.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	96円	0.915%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,524円です。
（投信会社）	（ 46）	（ 0.441）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（ 46）	（ 0.441）	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの 管理等の対価
（受託会社）	（ 3）	（ 0.033）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.020	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	（ 1）	（ 0.013）	
（投資信託証券）	（ 1）	（ 0.007）	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	（ 0）	（ 0.002）	
（投資信託証券）	（ 0）	（ 0.000）	
(d) その他費用	7	0.065	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（ 7）	（ 0.071）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 1）	（ 0.010）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（△ 2）	（△ 0.016）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	105	1.002	

注1．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

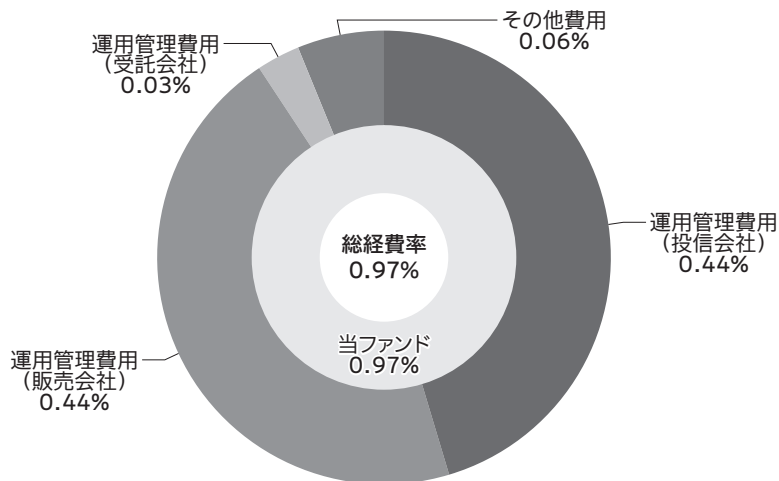
注2．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3．比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.97%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞

項目	第2期 2023.12.16～2024.12.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	102円	0.915%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,180円です。
(投信会社)	(49)	(0.441)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(49)	(0.441)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.035	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.021)	
(投資信託証券)	(2)	(0.014)	
(c) 有価証券取引税	0	0.004	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.003)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	28	0.253	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(29)	(0.263)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.010)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(△ 2)	(△ 0.020)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	134	1.207	

注1．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

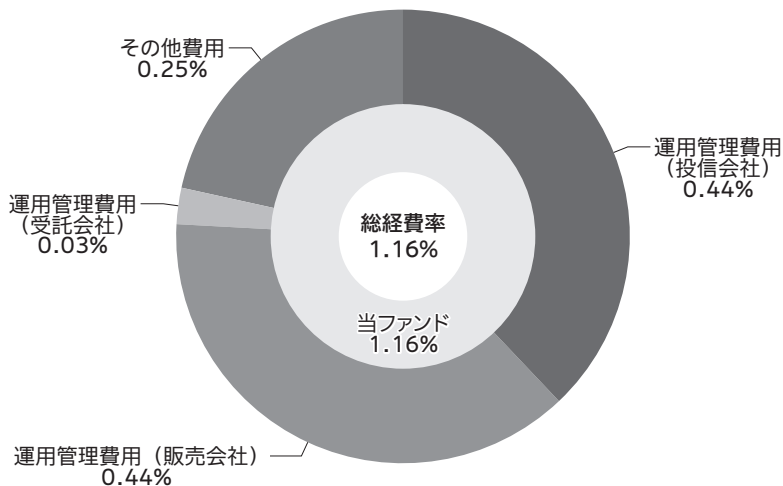
注2．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3．比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.16%**です。



注1．当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2．各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3．各比率は、年率換算した値です。

注4．当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5．上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞

項目	第2期 2023.12.16～2024.12.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	112円	0.915%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,227円です。
(投信会社)	(54)	(0.441)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(54)	(0.441)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの 管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.048	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(3)	(0.028)	
(投資信託証券)	(3)	(0.021)	
(c) 有価証券取引税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.005)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	40	0.330	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(42)	(0.342)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.010)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(△ 3)	(△ 0.022)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	159	1.298	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

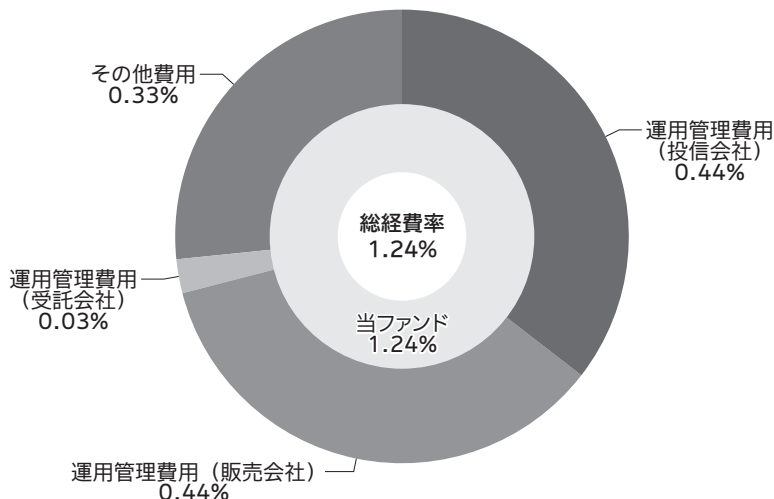
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.24%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

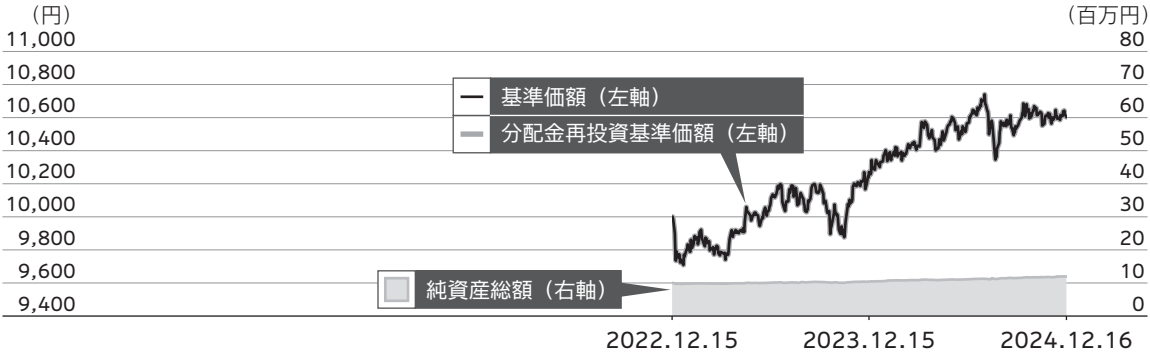
注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

2019.12.16～2024.12.16

SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

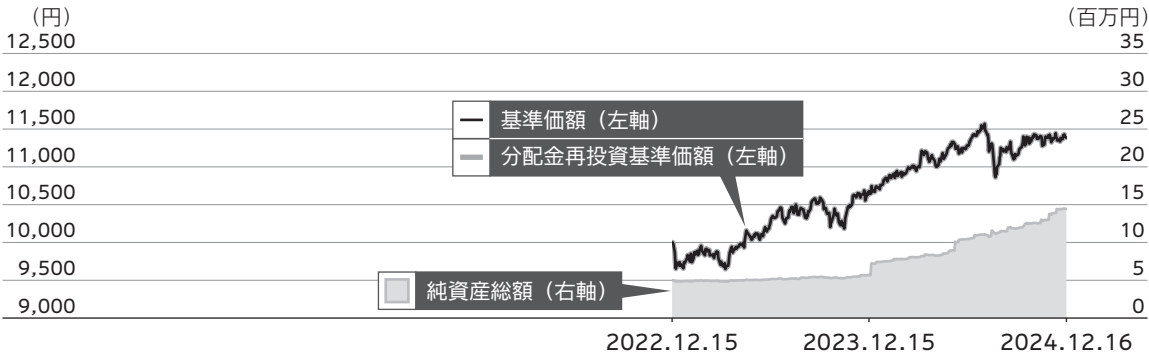
決算日	2022.12.15 設定時	2023.12.15 決算日	2024.12.16 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,271	10,603
期中分配金合計（税引前） (円)	—	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	2.7	3.2
純資産総額 (百万円)	10	10	11

最近5年間の基準価額等の推移

2019.12.16～2024.12.16



SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）<DC年金>



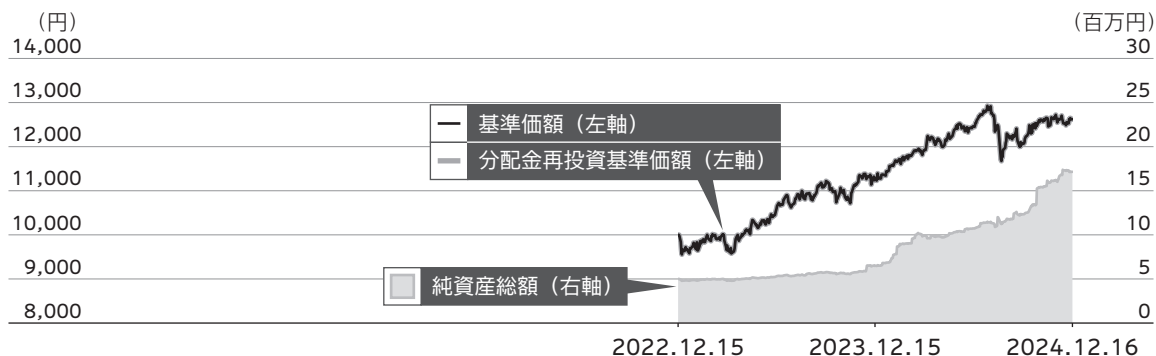
- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

決算日	2022.12.15 設定時	2023.12.15 決算日	2024.12.16 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,678	11,385
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	6.8	6.6
純資産総額 (百万円)	5	5	14

最近5年間の基準価額等の推移

2019.12.16～2024.12.16

SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

決算日	2022.12.15 設定時	2023.12.15 決算日	2024.12.16 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,294	12,622
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	12.9	11.8
純資産総額 (百万円)	5	6	17

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

1. 日本株式市場

TOPIXは20.2%の上昇となりました。

期初は堅調な企業業績、ガバナンスや資本効率改善期待などを背景に海外からの資金流入が加速し、国内株式市場は大きく上昇しました。その後も米国インフレ率鈍化による利下げ期待や国内企業の政策保有株売却の加速、積極的な株主還元などが下支え要因となり、堅調な推移が続きました。

2024年8月には米国景気後退懸念や日銀による利上げを受けて日米金利差が縮小し、急激に円高ドル安が進んだことで急落する場面もあったものの、その後の堅調な米国経済指標や企業業績推移などを背景に市場は落ち着きを取り戻しました。期末にかけては、国内外の経済および政治動向の不透明感からやや変動幅の大きい不安定な相場となりました。

2. 外国株式市場

当期の外国株式市場は上昇しました。

2024年の始めは生成AIへの投資から恩恵を受けるAI半導体関連企業を中心に企業業績が拡大し、株式市場は上昇しました。春先にはイスラエルと周辺諸国の対立激化を受けて株価が調整する場面もありましたが、欧米を中心にインフレ率が鈍化したことを受けて政策金利引き下げへの期待が高まり、株式市場全体のバリュエーションが拡張しました。夏場以降は、中国に対する米国の半導体規制強化や米国雇用統計の悪化により株式市場が再度調整する局面もありましたが、秋口からは市場の関心が米国大統領選挙に向く中でトランプ氏の再選を意識した相場の物色が進み、期を通じては、株価は上昇しました。

3. エマージング株式市場

当期のエマージング株式市場は上昇しました。

2024年の年初は、中国での不動産市場の低迷を起点とした経済指標の鈍化により株価の上値が重い展開が続きましたが、その後は生成AIの普及加速期待を受けて台湾や韓国のAI半導体関連銘柄が牽引する形で相場は大きく上昇しました。夏場以降は中国軍による台湾周辺での軍事演習や米国雇用統計の下振れなどを受けて株価が一時調整する局面も見られましたが、9月下旬に中国当局から発表された大規模な金融緩和策などの景気刺激策が好感されて市場は大きく上昇しました。10

月以降は米国大統領選挙の動向が意識され、トランプ氏の再選を受けて新興国市場からの資金流出が見られたものの、期を通じては、株価は上昇しました。

4. 日本債券市場

当期の10年国債利回りは上昇しました。

2024年1月以降、海外金利が上昇したことや、日銀が物価目標達成に向けて前向きな姿勢をみせたことなどから、利回りは上昇しました。日銀は、3月にマイナス金利政策の解除およびイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）政策の撤廃を決定し、7月に追加利上げと国債買入れの減額を決定しました。その後は、海外金利が低下し円高傾向となったことから、利回りは低下（価格は上昇）しましたが、10月に入り再び円安傾向となったことで再度利回りは上昇しました。

事業債のスプレッドは、日銀による金融正常化が慎重なペースで行われるとの見方のもと、市場のリスク選好姿勢が継続したことから、前期末対比で縮小しました。

5. 外国債券市場

当期の米国10年国債利回りは、上昇しました。

期を通じては大きな幅でのレンジ相場となりました。期初から2024年4月にかけては、堅調な米国経済や根強いインフレを背景に早期利下げ期待が後退し、利回りは上昇しました。その後、9月にかけては、景況感の悪化や雇用関連指標の軟化を受けて利下げ観測が高まり、利回りは低下しましたが、10月以降は、強い雇用統計などを背景に利下げ観測が後退したことや、米国大統領選挙でのトランプ氏の再選が意識されたことによる財政拡大懸念などを受けて、利回りは再び上昇しました。

6. 外国為替市場（主要通貨）

当期の米ドル円相場は、円安ドル高となりました。

日米金融政策見通し格差により、米ドル円相場は上下動しました。期初から2024年4月にかけては、米国の利下げ観測が後退し、日銀の金融正常化が慎重なペースで行われるとの見方のもと、円安ドル高となりました。その後、7月以降は米国の利下げ観測の進展から急速に円高ドル安が進行した局面がありましたが、10月以降は米国の利下げ観測が後退し、再び円安ドル高基調となりました。

7. 外国為替市場（エマージング通貨）

当期のエマージング通貨市場は、対円で上昇しました。

米国経済が底堅く推移し、米ドル高基調が継続したことで、エマージング通貨の下押し圧力となりました。一方、日銀が金融政策の縮小を慎重に進める姿勢を維持したことで日本円も通貨安基調で推移し、エマージング通貨は対円で上昇しました。

8. J-REIT市場

当期のJ-REIT市場は下落しました。

期初は、日銀の金融政策正常化が意識される中で、金利動向に対する不透明感が嫌気され下落する場面もあったものの、2024年3月の金融政策決定会合後は緩和的な金融環境が当面続くとの見方から反発し、横ばい圏で推移しました。

その後は、オフィス空室率の低下や賃料上昇などの良好なファンダメンタルズ、不動産時価対比で割安なバリュエーションなどが支えとなったものの、日銀による追加利上げ懸念を受けた国内長期金利上昇を嫌気して、下落しました。

9. グローバルREIT市場

当期のグローバルREIT市場は、上昇しました。

当期の前半は、米国の堅調な労働市場を背景に米国金利が上昇したことで、グローバルREIT市場は軟調に推移しましたが、その後は米国金融政策見通しの不安定さを受けてレンジ相場となりました。

当期の後半は、欧州の政治不安や金利上昇により欧州のリート価格は下落したものの、堅調な豪州株式を背景に豪州のリート価格が上昇したほか、FRB（米連邦準備理事会）が政策金利の引下げを開始したことで米国のリート価格が上昇し、グローバルREIT市場は上昇しました。

● 当該投資信託のポートフォリオ

SOMPO世界分散ファンド<DC年金>

各ファンドの資産アロケーションについては、当社が決定した基準資産配分比率を、ほぼ維持する戦略を採りました。基準資産配分比率は2024年2月、5月、8月及び11月に変更しました。

SOMPO世界分散ファンド(安定型)<DC年金>実質組入比率

	前期末 (2023年12月15日)		当期末 (2024年12月16日)
国内株式	5.7%	→	4.3%
外国株式	20.7%	→	21.1%
国内債券	22.7%	→	22.8%
外国債券	41.6%	→	40.7%
国内REIT	7.1%	→	7.0%
外国REIT	1.3%	→	3.0%
短期資産	0.9%	→	1.1%

SOMPO世界分散ファンド(安定成長型)<DC年金>実質組入比率

	前期末 (2023年12月15日)		当期末 (2024年12月16日)
国内株式	8.2%	→	7.2%
外国株式	32.9%	→	33.1%
国内債券	7.6%	→	7.7%
外国債券	38.7%	→	38.0%
国内REIT	9.3%	→	9.2%
外国REIT	2.5%	→	3.7%
短期資産	0.8%	→	1.1%

SOMPO世界分散ファンド(成長型)<DC年金>実質組入比率

	前期末 (2023年12月15日)		当期末 (2024年12月16日)
国内株式	13.2%	→	6.7%
外国株式	44.4%	→	45.3%
国内債券	3.9%	→	4.4%
外国債券	23.5%	→	26.3%
国内REIT	8.8%	→	10.2%
外国REIT	5.3%	→	6.4%
短期資産	0.9%	→	0.8%



S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、99.4%です。

当期も、当社独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づいたポートフォリオ構築を継続しました。当期間に行った主な銘柄入れ替えは以下の通りです。

主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、太陽誘電、日本電信電話、八十二銀行などでした。

主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、三井住友フィナンシャルグループ、住友電気工業、大阪瓦斯などでした。



S J A M スモールキャップ・マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.8%です。

当期も、当社独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づいたポートフォリオ構築を継続しました。当期間に行った主な銘柄入れ替えは以下の通りです。

主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、日本M & A センターホールディングス、富士通ゼネラル、豊田合成などでした。

主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、めぶきフィナンシャルグループ、日本テレビホールディングス、いよぎんホールディングスなどでした。



SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.9%です。

ポートフォリオは当社独自の投資価値分析に基づく相対的割安度の高い銘柄を中心に、ベンチマークと比較してリスク水準を抑えたポートフォリオ構築を継続しました。

主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、NVIDIA（米国・情報技術）やSalesforce（米国・情報技術）などでした。

主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、Meta Platforms（米国・情報技術）やQualcomm（米国・情報技術）などでした。



損保ジャパン日本債券マザーファンド

期を通して債券の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.6%です。

金利戦略は定量分析に基づき、2024年1月から2月はベンチマーク対比でデュレーションを長期化し、5月から7月までは短期化しました。9月以降はベンチマーク並みからベンチマーク対比短期化から長期化まで機動的に変更しました。

債券種別戦略は、非国債のオーバーウェイトを継続しました。

個別銘柄戦略は、信用力対比で利回りの高い銘柄を多く組入れました。



損保ジャパン外国債券マザーファンド

期を通して債券の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、99.2%です。

国別配分戦略は、ユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせてポジションを機動的に変更しました。

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて機動的にポジションを変更しました。



損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

期を通して債券の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、97.3%です。

国別配分戦略は、ドルやユーロの通貨戦略とユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせてポジションを機動的に変更しました。

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて機動的にポジションを変更しました。

なお、為替ヘッジは行っておりません。



損保ジャパンJ-REITマザーファンド

期を通してREITの組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.9%です。

・主な購入銘柄

割安度の高い銘柄を中心に購入しました。具体的には産業ファンド投資法人、日本プロロジスリート投資法人、東急リアル・エステート投資法人などです。

・主な売却銘柄

割安度の低下した銘柄を中心に売却しました。具体的には、日本ビルファンド投資法人、ジャパン・ホテル・リート投資法人、ザイマックス・リート投資法人などです。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

各ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。期を通じて各マザーファンドを組入れておりましたので、以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異の要因分析等についてご説明致します。

< S J AM ラージキャップ・バリュー・マザーファンドとベンチマークとの差異 >

マザーファンドの騰落率は、Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）の騰落率（+25.9%）を6.4%下回りました。要因別では、業種配分効果はプラス要因、個別銘柄選択効果はマイナス要因となりました。業種配分効果では、輸送用機器のアンダーウェイト、銀行業や機械のオーバーウェイトなどがプラス要因、保険業のアンダーウェイト、金属製品や食料品のオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では大林組、清水建設、めぶぎフィナンシャルグループのオーバーウェイトなどがプラス要因、太陽誘電、ヤマトホールディングス、日本精工のオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。

< S J AM スモールキャップ・マザーファンドとベンチマークとの差異 >

マザーファンドの騰落率は、Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）の騰落率（+17.4%）を3.6%上回りました。要因別では、業種配分効果、個別銘柄選択効果ともにプラス要因となりました。業種配分効果では、銀行業や輸送用機器のオーバーウェイト、電気・ガス業のアンダーウェイトなどがプラス要因、非鉄金属や情報・通信業、その他製品のアンダーウェイトなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、いよぎんホールディングス、ちゅうぎんフィナンシャルグループ、めぶぎフィナンシャルグループのオーバーウェイトなどがプラス要因、フジクラのアンダーウェイト、エン・ジャパン、EIZOのオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。

＜SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンドとの差異＞

マザーファンドの騰落率は、MSCIコクサイ インデックス（配当込み）の騰落率（+35.1%）を13.7%下回りました。株式市場の上昇による低リスク運用への逆風に加え、生成AIへの期待を背景に大型グロース銘柄に物色が極端に集中するなどバリュー運用においても逆風環境となり、当社独自の株式評価モデルが有効に作用しなかったことなどから、マイナスの超過収益となりました。個別銘柄においては、Walmart（米国・生活必需品）やSalesforce（米国・情報技術）のオーバーウェイトなどがプラス要因となったものの、NVIDIA（米国・情報技術）のアンダーウェイトやAdobe（米国・情報技術）のオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。

＜損保ジャパン日本債券マザーファンドとベンチマークとの差異＞

マザーファンドの騰落率は、NOMURA-BPI総合指数の騰落率（-2.4%）を0.2%上回りました。

主に金利戦略で2024年5月にとったデュレーション短期化戦略と、期を通じて個別銘柄戦略において利回りの高い事業債を組み入れたことがプラス要因となりました。

＜損保ジャパン外国債券マザーファンドとベンチマークとの差異＞

マザーファンドの騰落率は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）の騰落率（-2.3%）を0.3%下回りました。2024年1月、2月、10月の米国と欧州のデュレーション長期化が、主なマイナス要因となりました。

＜損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンドとベンチマークとの差異＞

マザーファンドの騰落率は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）の騰落率（+8.7%）を0.7%下回りました。2024年1月、2月、10月の米国と欧州のデュレーション長期化が、主なマイナス要因となりました。

＜損保ジャパンJ-REITマザーファンドとベンチマークとの差異＞

マザーファンドの騰落率は、東証REIT指数（配当込み）の騰落率（-5.8%）を1.4%上回りました。

ジャパン・ホテル・リート投資法人、日本ビルファンド投資法人のオーバーウェイトがプラス要因となりました。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。



SOMPO世界分散ファンド<DC年金>

各ファンドの収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第2期 2023.12.16~2024.12.16		
	SOMPO世界分散ファンド (安定型)<DC年金>	SOMPO世界分散ファンド (安定成長型)<DC年金>	SOMPO世界分散ファンド (成長型)<DC年金>
当期分配金	—	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	603	1,385	2,621

- 注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- 注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
- 注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

SOMPO世界分散ファンド<DC年金>

マザーファンドの受益証券などへの投資を通して、日本を含めた世界各国の株式、債券およびリードに積極的に分散投資を行うことによって、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき銘柄を選択していくことを基本方針とします。今後も、固有の割安要因に着目した個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

S J A M スモールキャップ・マザーファンド

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき銘柄を選択していくことを基本方針とします。今後も、固有の割安要因に着目した個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

SOMPO 外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

今後の運用においても、当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度の高い銘柄を中心に、ベンチマークと比較してリスク水準を抑えたポートフォリオ構築を継続します。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の投資環境モデルによる相場の方向性分析を加味して戦略を決定していくことを基本方針とします。今後も、金利戦略、債券種別戦略、個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

損保ジャパン外国債券マザーファンド

国別配分戦略は、ユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更し、収益機会を増やす方針とします。

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更し、収益機会を増やす方針とします。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

国別配分戦略は、ドルやユーロの通貨戦略とユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更し、収益機会を増やす方針とします。

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて、機動的にポジションを変更し、収益機会を増やす方針とします。

損保ジャパンJ－REITマザーファンド

当ファンドは主として、わが国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（REIT）を投資対象とし、相対的に割安な銘柄を中心にポートフォリオを構築することで、安定的な配当収入の確保と、中長期的な信託財産の成長を目指します。

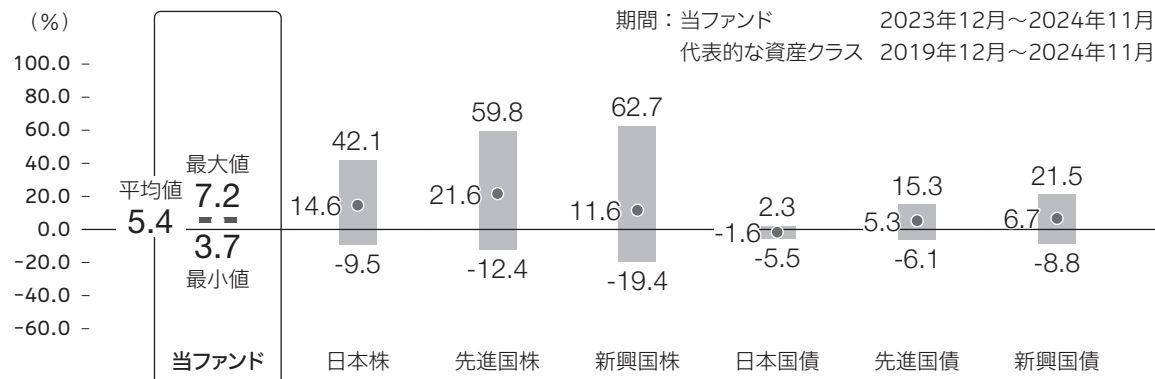
● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	安定型：安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。 安定成長型：信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。 成長型：信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。	
主要投資対象	 SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞ SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞ SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞ 下記に記載のマザーファンド受益証券および新興国株式を主要投資対象とする上場投資信託証券および外国不動産投資信託証券を主要投資対象とする上場投資信託証券	
	 S J A Mラージキャップ・バリュー・マザーファンド わが国の株式	 損保ジャパン外国債券マザーファンド 日本を除く世界各国の公社債
	 S J A Mスモールキャップ・マザーファンド わが国の株式	 損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド 日本を除く世界各国の公社債
	 SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド 日本を除く世界各国の株式	 損保ジャパンJ－R E I Tマザーファンド 日本のリート
	 損保ジャパン日本債券マザーファンド 日本の公社債	
運用方法	① 実質的に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券（リート）へ分散投資を行います。 ② 各資産への投資配分比率については、ポートフォリオの想定リスク水準を踏まえて長期的な視点のほか、短期的な視点も考慮して決定します。	
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

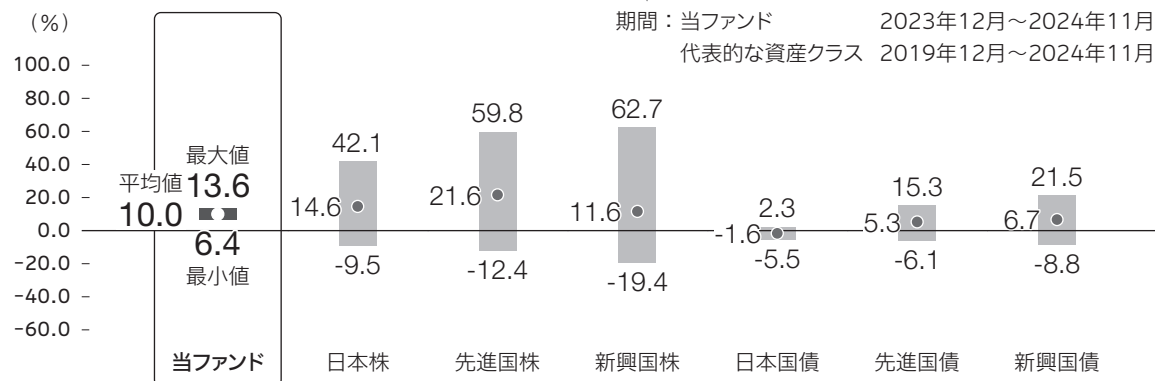
☐ SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞

❗ 当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



☐ SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞

❗ 当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



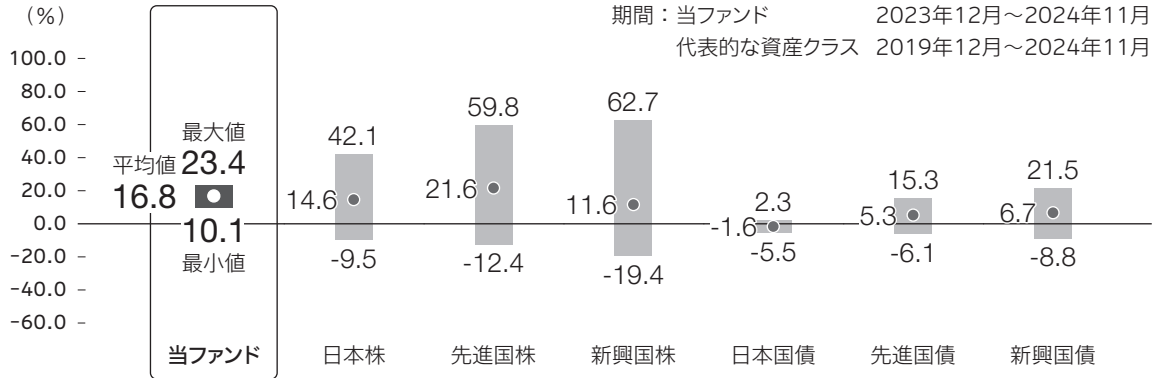
代表的な資産クラスとの騰落率の比較



SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞



当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は52ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

SOMPO世界分散ファンド（安定型）<DC年金>

● 当該投資信託の組入資産の内容

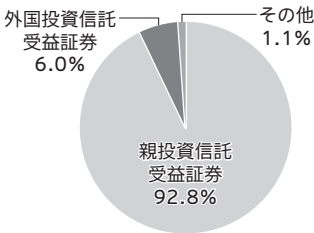
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

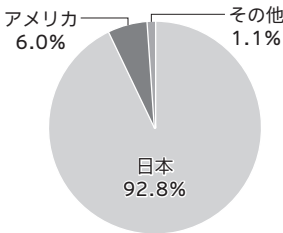
	第2期末 2024.12.16
損保ジャパン外国債券マザーファンド	36.2%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	22.8%
SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド	18.0%
損保ジャパンJ－REITマザーファンド	7.0%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	4.6%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	3.1%
ISHARES GLOBAL REIT ETF	3.0%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	2.1%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	2.1%

注．比率は第2期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

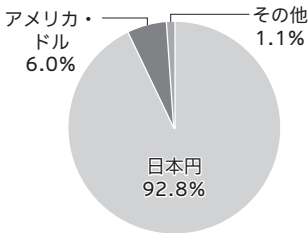
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第2期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第2期末 2024.12.16
純資産総額	11,955,023円
受益権総口数	11,274,781口
1万口当たり基準価額	10,603円

※ 当期中における追加設定元本額は1,100,943円、同解約元本額は0円です。

純資産等



SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）<DC年金>

● 当該投資信託の組入資産の内容

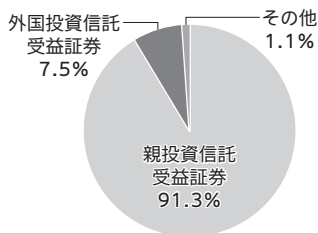
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

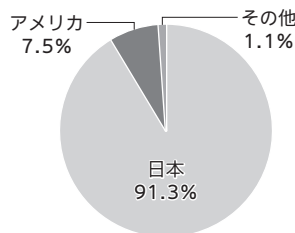
	第2期末 2024.12.16
損保ジャパン外国債券マザーファンド	32.2%
SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド	29.3%
損保ジャパンJ－REITマザーファンド	9.2%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	7.7%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	5.8%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	3.8%
ISHARES GLOBAL REIT ETF	3.7%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	3.6%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	3.5%

注．比率は第2期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

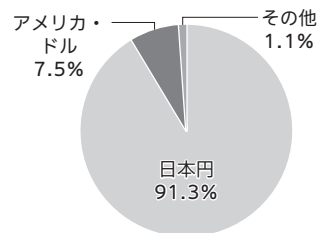
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第2期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第2期末 2024.12.16
純資産総額	14,439,527円
受益権総口数	12,682,863口
1万口当たり基準価額	11,385円

※ 当期中における追加設定元本額は7,415,991円、同解約元本額は68,600円です。

純資産等

● 当該投資信託の組入資産の内容

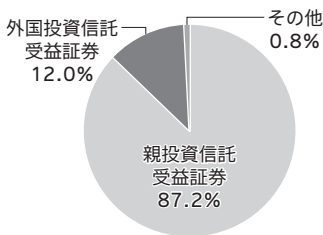
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

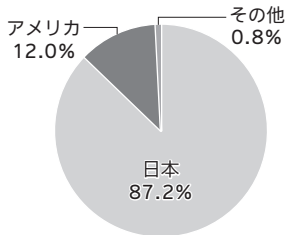
	第2期末 2024.12.16
SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド	39.7%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	18.1%
損保ジャパンJ－REITマザーファンド	10.2%
損保ジャパン外国債券マザーファンド	8.2%
ISHARES GLOBAL REIT ETF	6.4%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	5.6%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	4.4%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	3.4%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	3.3%

注．比率は第2期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

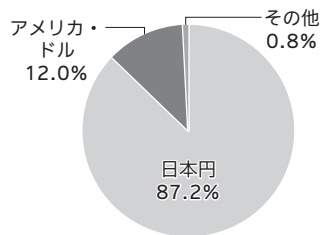
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第2期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第2期末 2024.12.16
純資産総額	17,146,251円
受益権総口数	13,584,949口
1万口当たり基準価額	12,622円

※ 当期中における追加設定元本額は8,928,502円、同解約元本額は1,108,338円です。

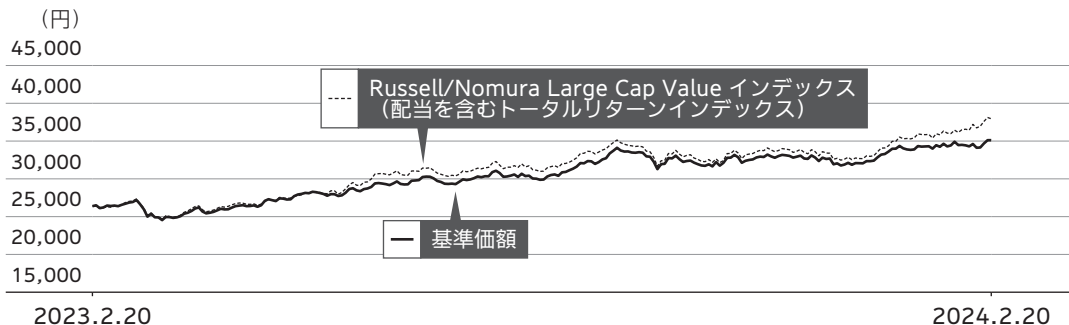
純資産等

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス））の推移は、2023年2月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

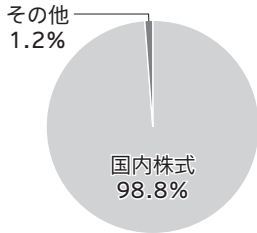
項目	2023.2.21～2024.2.20	
	金額	比率
売買委託手数料	26円	0.085%
(株式)	(26)	(0.085)
その他費用	0	0.001
(その他)	(0)	(0.001)
合計	26	0.086

期中の平均基準価額は30,344円です。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種	通貨	国(地域)	比率
1 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	6.7%
2 本田技研工業	輸送用機器	日本円	日本	4.4%
3 三菱地所	不動産業	日本円	日本	4.3%
4 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	日本円	日本	4.2%
5 大阪瓦斯	電気・ガス業	日本円	日本	4.1%
6 住友電気工業	非鉄金属	日本円	日本	3.5%
7 マキタ	機械	日本円	日本	3.4%
8 東レ	繊維製品	日本円	日本	3.4%
9 王子ホールディングス	パルプ・紙	日本円	日本	3.2%
10 旭化成	化学	日本円	日本	3.2%
組入銘柄数		42銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

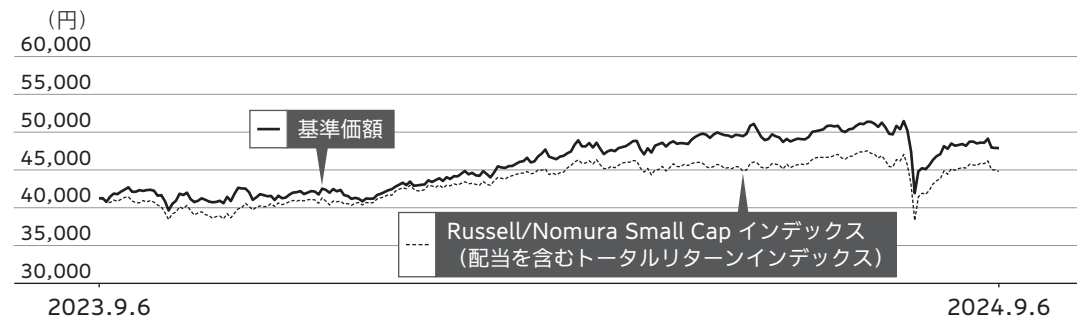
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年2月20日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



S J A Mスモールキャップ・マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス））の推移は、2023年9月6日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

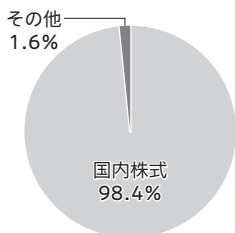
項目	2023.9.7～2024.9.6	
	金額	比率
売買委託手数料	41円	0.089%
(株式)	(41)	(0.089)
その他費用	0	0.001
(その他)	(0)	(0.001)
合計	41	0.090

期中の平均基準価額は46,374円です。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ジェイテクト	機械	日本円	日本	4.4%
2 ケーズホールディングス	小売業	日本円	日本	3.4%
3 セリア	小売業	日本円	日本	3.3%
4 第四北越フィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	3.1%
5 サワイグループホールディングス	医薬品	日本円	日本	2.9%
6 ほくほくフィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	2.8%
7 ちゅうぎんフィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	2.8%
8 西日本フィナンシャルホールディングス	銀行業	日本円	日本	2.7%
9 北洋銀行	銀行業	日本円	日本	2.3%
10 山陰合同銀行	銀行業	日本円	日本	2.2%
組入銘柄数		86銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

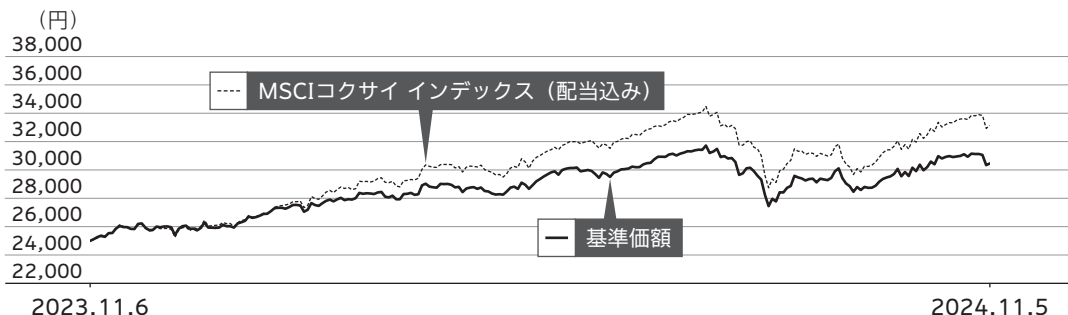
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年9月6日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（配当込み））の推移は、2023年11月6日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

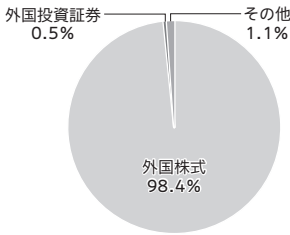
項目	2023.11.7～2024.11.5	
	金額	比率
売買委託手数料	12円	0.041%
（株式）	(12)	(0.041)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
有価証券取引税	3	0.012
（株式）	(3)	(0.012)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
その他費用	30	0.103
（保管費用）	(28)	(0.099)
（その他）	(1)	(0.004)
合計	45	0.156

期中の平均基準価額は28,857円です。

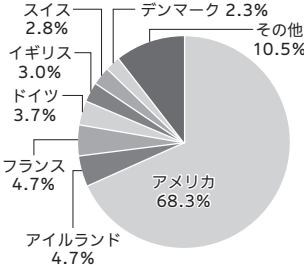
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 APPLE INC	テクノロジー・ハードウェア および機器	アメリカ・ドル	アメリカ	5.7%
2 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	4.9%
3 JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ ライフサイエンス	アメリカ・ドル	アメリカ	3.0%
4 ADOBE SYSTEMS INC	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.7%
5 SALESFORCE INC	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.6%
6 HOME DEPOT INC	一般消費財・サービス流通・ 小売り	アメリカ・ドル	アメリカ	2.5%
7 AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・ 小売り	アメリカ・ドル	アメリカ	2.4%
8 WAL-MART STORES INC	生活必需品流通・小売り	アメリカ・ドル	アメリカ	2.3%
9 NOVO NORDISK A/S-B	医薬品・バイオテクノロジー・ ライフサイエンス	デンマーク・ クローネ	デンマーク	2.3%
10 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカ・ドル	アメリカ	2.3%
組入銘柄数		89銘柄		

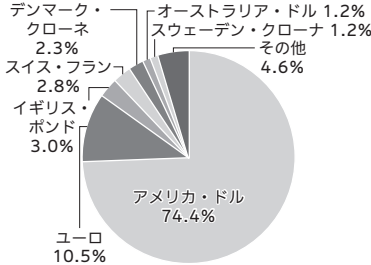
資産別配分



国別配分



通貨別配分

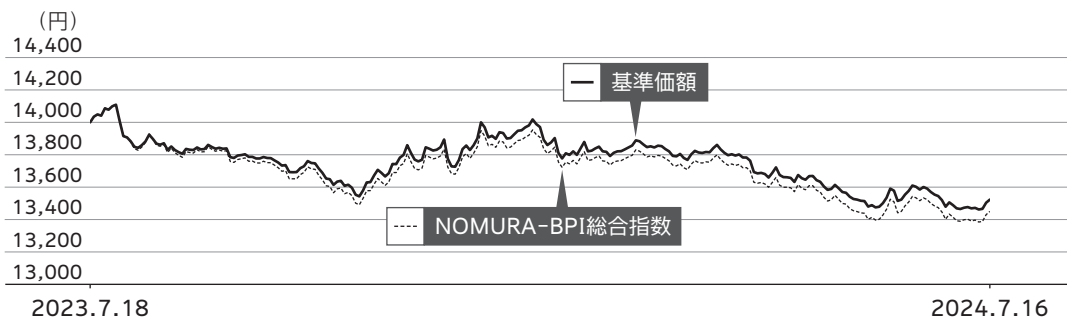


- 注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
- 注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。
- 注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年11月5日）現在のものです。
- 注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン日本債券マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）の推移は、2023年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

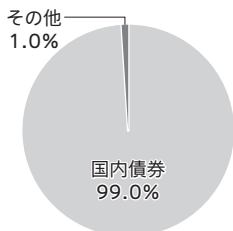
項目	2023.7.19～2024.7.16	
	金額	比率
その他費用	0円	0.001%
(その他)	(0)	(0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は13,743円です。

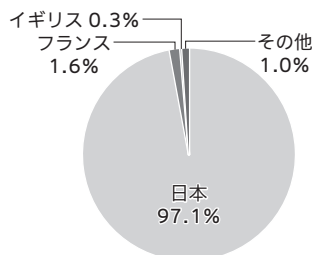
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第459回利付国債(2年)	国債証券	日本円	日本	3.3%
2 第373回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	3.2%
3 第183回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.9%
4 第367回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.9%
5 第371回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.8%
6 第364回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.7%
7 第165回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	2.6%
8 第352回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.6%
9 第358回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.2%
10 第167回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	2.2%
組入銘柄数		119銘柄		

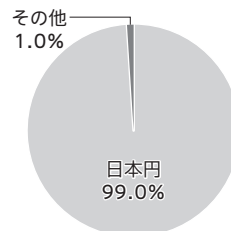
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

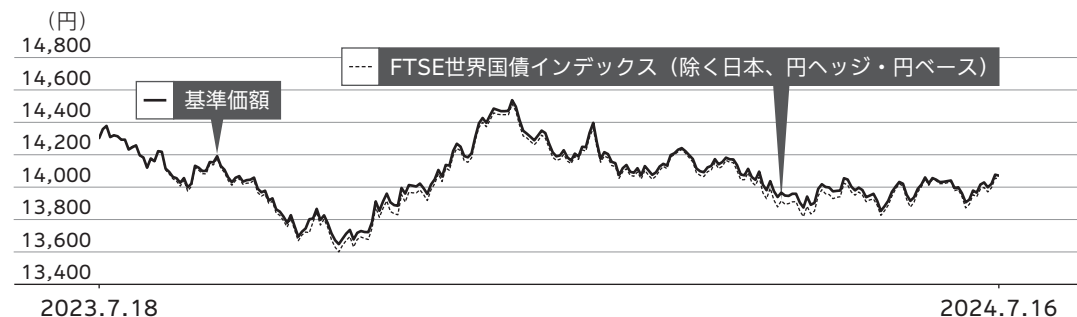
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2024年7月16日)現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン外国債券マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース））の推移は、2023年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

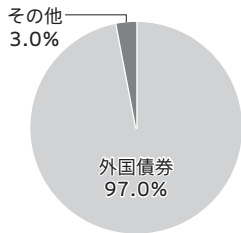
項目	2023.7.19～2024.7.16	
	金額	比率
その他費用	10円	0.069%
（保管費用）	(10)	(0.068)
（その他）	(0)	(0.001)
合計	10	0.069

期中の平均基準価額は14,069円です。

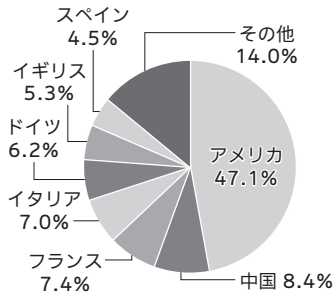
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 Treasury 2.75 280215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	6.5%
2 Treasury 4.0 340215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	5.8%
3 Treasury 1.875 260630	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	5.4%
4 Treasury 2.125 250515	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.8%
5 Treasury 4.625 310531	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.2%
6 Treasury 4.5 290531	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.8%
7 Treasury 4.75 531115	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.7%
8 SPAIN 0.5 311031	国債証券	ユーロ	スペイン	2.1%
9 Treasury 2.25 270815	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.1%
10 ITALY 2.2 270601	国債証券	ユーロ	イタリア	1.9%
組入銘柄数		142銘柄		

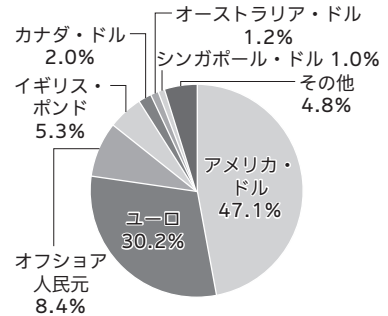
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

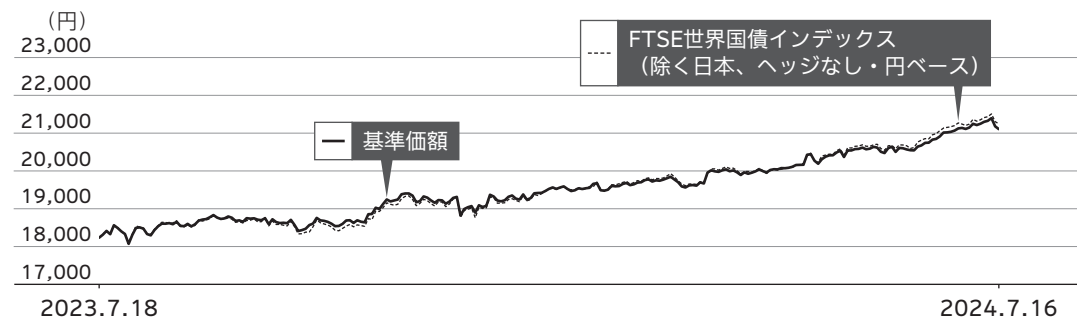
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年7月16日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））の推移は、2023年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

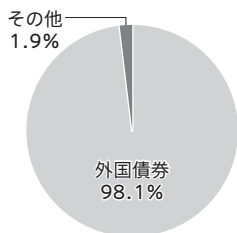
項目	2023.7.19～2024.7.16	
	金額	比率
その他費用	5円	0.025%
(保管費用)	(5)	(0.025)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	5	0.025

期中の平均基準価額は19,517円です。

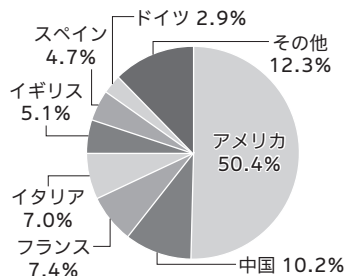
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 Treasury 2.75 280215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	9.3%
2 Treasury 0.75 260331	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	7.0%
3 Treasury 2.125 250515	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	6.4%
4 Treasury 4.625 310531	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	4.3%
5 Treasury 4.875 260531	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.8%
6 Treasury 4.0 340215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.9%
7 FRANCE 0.25 261125	国債証券	ユーロ	フランス	2.5%
8 Treasury 4.5 290531	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.3%
9 SPAIN 0.5 311031	国債証券	ユーロ	スペイン	2.2%
10 ITALY 2.2 270601	国債証券	ユーロ	イタリア	1.9%
組入銘柄数		152銘柄		

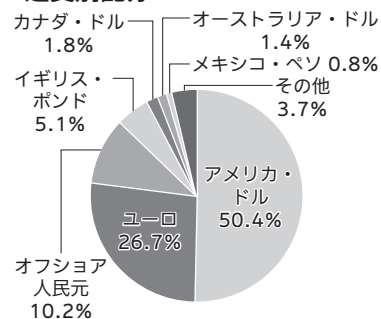
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

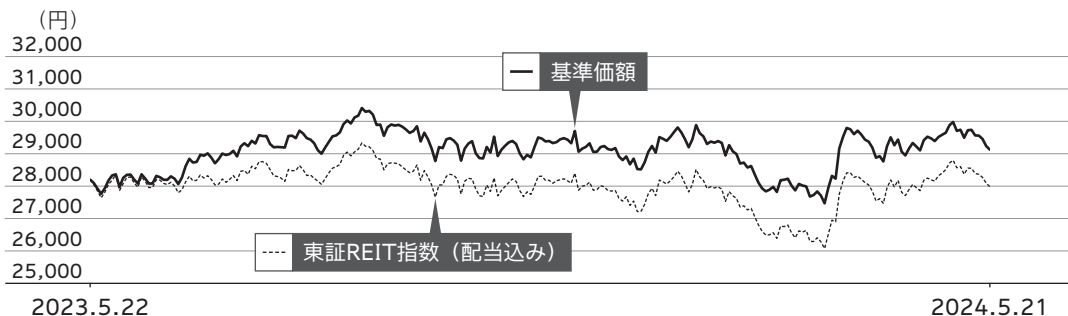
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年7月16日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパンＪ－ＲＥＩＴマザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（東証REIT指数（配当込み））の推移は、2023年5月22日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

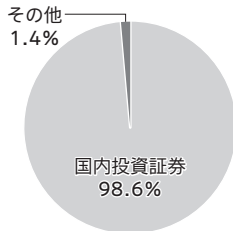
項目	2023.5.23～2024.5.21	
	金額	比率
売買委託手数料	25円	0.086%
（投資信託証券）	(25)	(0.086)
その他費用	0	0.001
（その他）	(0)	(0.001)
合計	25	0.087

期中の平均基準価額は29,202円です。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 日本ビルファンド投資法人	投資証券	日本円	日本	10.8%
2 ジャパンリアルエステイト投資法人	投資証券	日本円	日本	9.6%
3 アクティビア・プロパティーズ投資法人	投資証券	日本円	日本	6.3%
4 野村不動産マスターファンド投資法人	投資証券	日本円	日本	5.6%
5 日本プライムリアルティ投資法人	投資証券	日本円	日本	5.6%
6 大和ハウスリート投資法人	投資証券	日本円	日本	5.1%
7 森ヒルズリート投資法人	投資証券	日本円	日本	5.0%
8 ヒューリックリート投資法人	投資証券	日本円	日本	5.0%
9 G L P 投資法人	投資証券	日本円	日本	4.7%
10 ジャパンエクセレント投資法人	投資証券	日本円	日本	3.9%
組入銘柄数		30銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年5月21日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて各ファンドの詳細をご案内しております。

検索

それぞれのファンド名をご入力下さい。

SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/7102/price.html>

SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/7103/price.html>

SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/7104/price.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日
（申込不可日）

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。